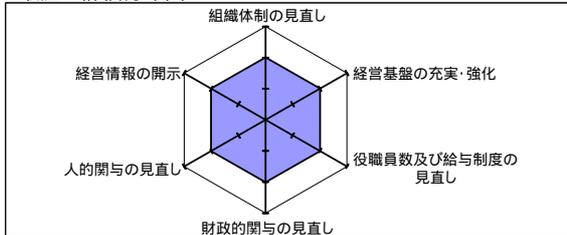


出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

南レク(株)

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	ある程度達成している。
経営基盤の充実・強化	ある程度達成している。
役職員数及び給与制度の見直し	ある程度達成している。
財政的関与の見直し	ある程度達成している。
人的関与の見直し	ある程度達成している。
経営情報の開示	ある程度達成している。

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

【評価: ある程度達成している。】

経費の削減については、指定管理者制度への移行や、ロープウェイ廃止など事業の縮小を考慮し、平成16年度から「希望退職者制度」を導入し社員数の削減を行った。計画としては、正社員を最小限にとどめ、臨時職員(非正規雇用)へ雇用変更することとし、正社員数を32名体制を目標に進めた結果、16年度当初55名であったが現在は28名となり、大幅な人件費の削減した。

【18年度2次評価に対する対応】

・厳しい経営環境を踏まえ、事業の見直しや業務の効率化等により、一層スリムで効率的な組織体制を構築する
 対応: 社員に経営改善に向けた具体的な提言を提出させる。また、経営改善を先導する3チームを編成し、A意識改革チーム(社員の意識と会社の気風の改革を目指す啓発)B節約推進チーム(1,000万円の節約を目標とする社員による検討・提言)C新規事業チーム(販売・売上5,000万円アップを目標とする新規営業等)により、経営改善に努める。

(2) 経営基盤の充実・強化

【評価: ある程度達成している。】

利用者の取り組みについては、従前より重要性を感じ利用促進に努めてきたが、結果として減少傾向が続いている。この対策として、社員数を削減するなか、営業部門については増員し、旅行者などへの営業を更に強化している。また、社員からアイデアを募集し、新しい試みを実施している。(例: 南楽園では、菖蒲新品種の植え付け、ライトアップ、蛍の幼虫の飼育、野路菊の植え付け等四季を通じた花作りを目指す)しかし、営業も含めその効果は、まだ明確な数字として現れていないが、継続することによりその効果はあらわれると考えている。また、植栽外注工事一部直営化や、工区を16年度の8工区から、17年度5、18年度3へと集約するなど諸経費削減に努めている。

【18年度2次評価に対する対応】

・多額の累積欠損金(H17年度末1,038百万円)を抱えている
 対応: 資本金15億円を4億円に減資し繰越欠損金の一掃を図りたい
 ・子会社サンパル観光(株)への支援は当法人の経営を圧迫しており、当法人の経営改革に併せ、早急な建て直しが望まれる。
 対応: サンパル観光(株)については、H18年度中に8億5千万から8千5百万へ減資している。

(3) 役職員数及び給与制度の見直し

【評価: ある程度達成している。】

役員数については、17年度当初は17名であったが、現在は取締役14名(内常勤3名)から、3名減員(常勤1名、非常勤2名)し、11名(内常勤2名)となった。監査役は3名(内常勤1名)から、2名減員(非常勤2名)し、1名(常勤)とした。計5名(常勤1名、非常勤4名)減員し、12名とした。
 社員数についてはH17年度末29名からH18年度末28名で1名減である。社員基本給は、H18年度から30%をカットし、そのカット分は業績や業務評価により支給することとしたが、H18年度においてはこれを15%の支給に留め結果として、総額で前年比15%削減している。

【18年度2次評価に対する対応】

年間支出における人件費の占める割合が依然として高い水準にあり財務の硬直性を招いている。
 対応: 業務の効率化等により、雑給の削減、職員の残業の削減等に努める。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

【評価: ある程度達成している。】

H18年度より指定管理者制度導入により管理委託費の削減を実施し、効率的な施設運営を行い適切な収入の確保と経費の削減を求めている。今後の南レクのあり方については、今年4回程度開催される「ホッと南レク活性化全体協議会」において地元市町、南レク(株)とともに検討を重ねているところであり、一部施設の市町への委譲、スポーツ合宿誘致の促進など可能なものから順次具体化を図ることとしている。

【18年度2次評価に対する対応】

上記のとおり対応した。

(2) 人的関与の見直し

【評価: ある程度達成している。】

県職員OBは、代表取締役社長1名である。

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: ある程度達成している。】

当社ホームページにおいて、貸借対照表、損益計算書を情報公開しており、平成18年度からは指定管理者として情報公開制度を導入している営業報告書及び事業計画についてはより具体的かつ詳細な経営分析、経営方針の提示が図れるよう見直しを検討していきたい。

4 総合的評価

・社員の意識改革(社風の改善)、簡素で効果的な業務執行ができる体制づくり(組織再編)、経営の実情や業務の内容に即した人員の配置(社員の削減と業務の見直し)、累積欠損金の一掃への取り組み(減資決議)等については一定の成果があったことを評価しているが、利用者数や売店やレストラン等の売上げは減少傾向にあり、南予レクリエーション都市公園の適正な管理と利用促進を社是とする南レク(株)においてはこの両面からの一層の努力、とりわけ、全国の観光関連事業者等連携のもと集客力につながる営業面での格段の努力が求められる。